

2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 りらいあコミュニケーションズ株式会社
 コード番号 4708 URL <https://www.relia-group.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 網野 孝
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 岩本 健一郎

TEL 03-5351-7200

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第3四半期 | 93,703 | 10.2 | 7,501 | 122.2 | 7,372 | 114.0 | 4,777 | 150.8 |
| 2019年3月期第3四半期 | 85,038 | 5.0 | 3,376 | 1.5 | 3,445 | 1.0 | 1,904 | 17.4 |

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 4,446百万円 (167.5%) 2019年3月期第3四半期 1,662百万円 (11.4%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第3四半期 | 69.33 | |
| 2019年3月期第3四半期 | 27.64 | |

(参考) のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

2020年3月期第3四半期 5,073百万円 (59.8%) 2019年3月期第3四半期 3,174百万円 (12.0%)

調整後EPS 2020年3月期第3四半期 73.61円 2019年3月期第3四半期 46.05円

(注) 調整後EPS : のれん償却前当期純利益 / (期末発行済株式数 - 期末自己株式数)

四半期においては、「当期」を「四半期」、「期末」を「四半期末」に読み替えて計算

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年3月期第3四半期 | 59,390 | 39,587 | 66.7 | 574.34 |
| 2019年3月期 | 55,755 | 37,814 | 67.8 | 548.62 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 39,584百万円 2019年3月期 37,811百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | | 18.00 | | 18.00 | 36.00 |
| 2020年3月期 | | 19.00 | | | |
| 2020年3月期(予想) | | | | 20.00 | 39.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 124,000 | 7.1 | 9,100 | 64.7 | 8,900 | 59.1 | 5,600 | | 81.25 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) のれん償却前当期純利益 2020年3月期通期 6,000百万円 (28.0%) 調整後EPS 2020年3月期通期 87.06円

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2020年3月期3Q | 69,503,040 株 | 2019年3月期 | 69,503,040 株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|-----------|----------|-----------|
| 2020年3月期3Q | 582,198 株 | 2019年3月期 | 582,172 株 |
|------------|-----------|----------|-----------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2020年3月期3Q | 68,920,863 株 | 2019年3月期3Q | 68,920,877 株 |
|------------|--------------|------------|--------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (重要な後発事象) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、海外経済の減速や自然災害、消費税率引き上げ等の影響がみられましたが、当社グループが属するBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)業界では、急速なデジタル化の進展、働き方改革など企業が直面する課題解決のためアウトソーシング需要が堅調に推移しました。

こうした中、当社グループは、中期経営計画である「事業戦略2020」の達成に向け、「4つのイノベーションによる収益構造の変革」「ポートフォリオ見直しも含めた採算管理の徹底」「採用・育成強化、離職率抑制による、生産性の向上」に取り組みました。当第3四半期連結累計期間においては、注力分野であるデジタルシフトにおいて、LINE株式会社が提供する通知メッセージを活用した「りらいあ先回りサポート」等のオムニチャネルサービスや、コンタクトセンターに蓄積されたデータを活用してチャットボットの回答精度を高める「りらいあ自己解決パック」、処理工程の自動化による大量事務処理業務の効率化等を推進したほか、次世代型コンタクトセンターとして、新宿リンクスクエアセンターを新たに開設しました。また、2019年2月に発生した不適切な会計処理に対する再発防止に向け、人事評価制度の見直しやコンプライアンス研修、社員参加型のワークショップなどを実施しました。

売上面では、国内既存業務では金融、公益、流通向けなどを中心に堅調に推移し、大型スポット業務の受託もありました。海外子会社においては、Inspiro Relia, Inc.にて、新規受注や既存業務の拡大もあり、主要顧客の受注減の影響を補いました。これらの要因により連結売上高は前年同四半期を上回りました。また、利益面では、大型スポット業務の受託やのれん償却費の減少に加え、現場オペレーションの支援による定着率向上など生産性向上に資する取り組みや、新規受注時の採算性確認プロセスの強化、既存業務の採算管理の徹底も寄与し、営業利益は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は93,703百万円(前年同四半期比10.2%増)、営業利益は7,501百万円(同122.2%増)、経常利益は7,372百万円(同114.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,777百万円(同150.8%増)となりました。また、当第3四半期連結累計期間ののれん償却前営業利益(営業利益+のれん償却額)は、7,796百万円(同67.8%増)、のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)は、5,073百万円(同59.8%増)となりました。当社はInspiro Relia, Inc.等の買収に伴うのれん償却費用の影響等を鑑み、のれん償却前営業利益、のれん償却前純利益を経営指標として採用しております。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

コンタクトセンター事業

金融、公益、流通向けなどを中心に堅調に推移したほか、大型スポット業務の受託や既存業務の採算管理の徹底等も寄与し、当事業の売上高は78,120百万円(同13.6%増)、セグメント利益は6,112百万円(同146.5%増)となりました。

バックオフィス事業

前年同期にあった一部業務の終了等の影響があった一方、消費税増税に伴う大型スポット業務の受託がありました。その結果、当事業の売上高は11,703百万円(同0.5%増)、セグメント利益は1,202百万円(同32.8%増)となりました。

フィールドオペレーション事業

前年度に引き続き事業の体質改善を目的に選別受注を進めるなどした結果、当事業の売上高は3,879百万円(同15.9%減)、セグメント利益は186百万円(前年同四半期は△8百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、59,390百万円となり、前連結会計年度末比3,634百万円の増加となりました。主な増加は、現金及び預金1,082百万円、受取手形及び売掛金1,443百万円、仕掛品636百万円、有形固定資産1,796百万円であり、主な減少は、のれん376百万円、投資その他の資産1,144百万円です。

負債は、19,803百万円となり、前連結会計年度末比1,861百万円の増加となりました。主な増加は、買掛金195百万円、未払金274百万円、未払法人税等888百万円、資産除去債務234百万円、リース債務1,468百万円であり、主な減少は、短期借入金500百万円、賞与引当金188百万円、前受金1,152百万円です。

純資産は、39,587百万円となり、前連結会計年度末比1,772百万円の増加となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益4,777百万円であり、主な減少は、剰余金の配当金による支払2,550百万円、為替換算調整勘定229百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の67.8%から66.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月8日に「2020年3月期 第2四半期決算短信」並びに「通期業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」で開示しました業績予想に変更ありません。

※業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 16,659 | 17,741 |
| 受取手形及び売掛金 | 17,827 | 19,270 |
| 仕掛品 | 1,418 | 2,055 |
| 貯蔵品 | 28 | 18 |
| その他 | 2,314 | 2,611 |
| 貸倒引当金 | △34 | △180 |
| 流動資産合計 | 38,214 | 41,516 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 4,654 | 6,450 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 3,086 | 2,709 |
| その他 | 812 | 869 |
| 無形固定資産合計 | 3,898 | 3,579 |
| 投資その他の資産 | 8,988 | 7,844 |
| 固定資産合計 | 17,541 | 17,873 |
| 資産合計 | 55,755 | 59,390 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 3,109 | 3,304 |
| 短期借入金 | 500 | — |
| 未払金 | 7,640 | 7,915 |
| 未払法人税等 | 921 | 1,810 |
| 賞与引当金 | 975 | 786 |
| 役員賞与引当金 | 43 | 52 |
| その他 | 3,157 | 2,761 |
| 流動負債合計 | 16,346 | 16,630 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 20 | — |
| 退職給付に係る負債 | 445 | 458 |
| 資産除去債務 | 1,099 | 1,333 |
| その他 | 30 | 1,380 |
| 固定負債合計 | 1,595 | 3,172 |
| 負債合計 | 17,941 | 19,803 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 998 | 998 |
| 資本剰余金 | 1,112 | 1,112 |
| 利益剰余金 | 34,497 | 36,601 |
| 自己株式 | △592 | △592 |
| 株主資本合計 | 36,015 | 38,120 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 28 | 27 |
| 繰延ヘッジ損益 | 79 | 37 |
| 為替換算調整勘定 | 1,796 | 1,567 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △109 | △168 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,795 | 1,463 |
| 非支配株主持分 | 2 | 3 |
| 純資産合計 | 37,814 | 39,587 |
| 負債純資産合計 | 55,755 | 59,390 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 85,038 | 93,703 |
| 売上原価 | 73,016 | 78,313 |
| 売上総利益 | 12,021 | 15,390 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,645 | 7,888 |
| 営業利益 | 3,376 | 7,501 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 13 | 36 |
| 受取配当金 | 3 | 3 |
| 受取手数料 | 15 | 16 |
| 受取補償金 | 38 | — |
| 持分法による投資利益 | 17 | 14 |
| その他 | 32 | 25 |
| 営業外収益合計 | 121 | 96 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2 | 70 |
| 為替差損 | 41 | 11 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 135 |
| その他 | 7 | 7 |
| 営業外費用合計 | 52 | 225 |
| 経常利益 | 3,445 | 7,372 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 9 | — |
| その他 | 0 | 0 |
| 特別利益合計 | 9 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | — |
| 関係会社株式売却損 | 89 | — |
| 投資有価証券評価損 | 344 | 166 |
| その他 | 30 | — |
| 特別損失合計 | 465 | 166 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,990 | 7,206 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 944 | 2,463 |
| 法人税等調整額 | 145 | △35 |
| 法人税等合計 | 1,090 | 2,427 |
| 四半期純利益 | 1,899 | 4,778 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △4 | 0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,904 | 4,777 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,899 | 4,778 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △14 | △1 |
| 繰延ヘッジ損益 | △89 | △41 |
| 為替換算調整勘定 | △155 | △231 |
| 退職給付に係る調整額 | 22 | △58 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △1 | 1 |
| その他の包括利益合計 | △237 | △331 |
| 四半期包括利益 | 1,662 | 4,446 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,667 | 4,445 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △4 | 0 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している一部の在外子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が1,388百万円増加し、流動負債の「その他」が95百万円及び固定負債の「その他」が1,375百万円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は123百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------------|---------------|------------------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | コンタクトセ ンター事業 | バックオフィ ス事業 | フィールドオ ペレーション 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 68,777 | 11,648 | 4,612 | 85,038 | — | 85,038 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 5 | 14 | 32 | 52 | △52 | — |
| 計 | 68,782 | 11,663 | 4,644 | 85,090 | △52 | 85,038 |
| セグメント利益又は損失(△) | 2,479 | 905 | △8 | 3,376 | △0 | 3,376 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------------|---------------|------------------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | コンタクトセ ンター事業 | バックオフィ ス事業 | フィールドオ ペレーション 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 78,120 | 11,703 | 3,879 | 93,703 | — | 93,703 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 22 | 13 | 87 | 122 | △122 | — |
| 計 | 78,143 | 11,716 | 3,966 | 93,826 | △122 | 93,703 |
| セグメント利益 | 6,112 | 1,202 | 186 | 7,501 | △0 | 7,501 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。